

第66回 芝浦技術士会 役員会議事録

日時：2020年6月6日(土) 10:00~11:00

場所：ZOOM 会議システムにて実施

出席者：鯨井会長、本間副会長、小林理事、走出理事、片桐理事、小野理事

欠席：黒田副会長、佐々木監事、春原監事、小島理事

事務局：土屋公平、茂木あずさ、渡邊千恵

議題：

1. 審議事項

- (1) 2019 年度決算報告
- (2) 2020 年度事業について
- (3) 2020 年度予算について
- (4) 今後の予定

会議に先立ち鯨井会長より、挨拶があった。

コロナの影響で技術士会としても初めてのWEB会議となりましたが、役員会として正式なものとし2020年度の計画について審議を行っていきましょう。

審議事項(1) 2019 年度決算報告について

①2019 年度芝浦技術士会決算の報告 (P、4)

2019 年度の決算額として、エスアイテックからの 50 万円の援助金のうち 244,692 円の執行で終わった。理由として、新型コロナウイルス感染拡大防止により 3 月に予定していた技術士フォーラムが中止となったため。

(内訳は、交通費 63,849 円 (26%)、研修費 4,000 円 (2%)、印刷製本費 10,800 円 (4%)、通信運搬費 60,881 円 (25%)、会議渉外費 62,888 円 (26%)、諸会費 20,000 円 (8%)、支払手数料 22,274 円 (9%) です。)

②2019 年度芝浦技術士会支部決算の報告 (P、5)

収入金額は 277,324 円 (内訳は、前年度繰越金額が 94,324 円、支部賛助金が 42,000 円、大学からのお祝い金が 20,000 円、校友会からのお祝い金が 20,000 円、校友会からの支部開催費が 101,000 円です。)

支出金額は 114,716 円 (内訳は、全国総会賛助金が 20,000 円、懇親会費 94,500 円、振込手数料が 216 円です。)

2020 年度の繰越金額は 162,608 円

③2019 年度技術士試験対策講座収支表の報告 (P6)

収入金額は、1,972,000 円 (内訳は、一次試験対策講座受講料収入が 29 名の受講生で 750,000 円、二次試験対策講座受講料収入が 26 名の受講生で 1,222,000 円です。) 支出金額は 888,890 円 (内訳は講師交通費が 23,890 円、講師謝礼金が 865,000 円です。)

収支金額は 1,083,110 円

→①と③は大学予算部分となり、収支については年度ベースとして大学の収支となる

審議事項（2）2020年度事業について

2020年度は、3つの活動に重視していく

1、芝浦技術士会としての活動（役員の担当紹介）

- 技術士試験対策講座
- 技術士フォーラムの開催年2回（小島理事、走出理事、春原監事）
- 大学技術士会連絡協議会との交流（片桐理事、小島理事、佐々木監事）
- 企業内技術士交流会との交流（佐々木監事、片桐理事、小島理事）
- 中小企業支援（走出理事、黒田理事、春原監事）

→鯨井会長より説明がなされた。中小企業にむけてエスアイテックと協力し、技術士会としての支援で何かできないか検討中。予算もある程度見込む必要がある。

2、芝浦技術士会支部活動について

→今年はコロナの影響で活動は中止の方向性

3、技術士試験対策講座

- 学生への説明会（小野先生）

→小野先生より企画提案がなされた

来年の3月までに何かできないか、後期の始まるタイミングでZoom説明会も検討中、またアンケートの実施など

皆さん同意し、小野先生が今後の企画を進めていく

- 技術士対策講座の開講（建設：小林先生、電気電子：本間先生、機械：小野先生）

- ・今後の活動の参考までに、他大学の技術士会活動事例の紹介

→これに対して中小企業支援活動に対しての意見がかわされた。

大学としてではなく個人での技術的な活動支援はなされているが、大学の組織ではこの活動は難しい。芝浦工業大学ではエスアイテックと協力してエスアイテックの事業の一環として活動を行っていきたい。

審議事項（3）2020年度予算について

①、2020年度芝浦技術士会予算（案）（P、13）

2020年度芝浦技術士会予算について、エスアイテックからの寄付の50万円の内訳は、交通費80,000円（16%）、研修費10,000円（2%）、印刷製本費50,000円（10%）、通信運搬費40,000円（8%）、会議渉外費150,000円（30%）、諸会費20,000円（4%）、支払手数料150,000円（30%）を予定しています。予算について承認された。

②、技術士試験対策講座予算（案）（P、14）

技術士試験対策講座の収支について、説明があった。収入は、電気電子部門8名で376,000円、建設部門11名で517,000円の合計893,000円の収入となっている。支出として、講師謝礼として368,000円を見込んでいる。建設部門の添削費のところは変動する見込みである。コロナの影響で大学内の講義ができなかったため、返金を一人あたり21,000円する予定である。予算について承認された。

次回の役員会は、9月28日（月）を予定している。以上